

ま え が き

ME化を中心とする技術革新の急速な進展をはじめ、人口の高齢化、経済のサービス化、国際化など経済社会の急激な変化が進む中で、公共職業訓練施設においては、これまでのような就業前の若年者を対象に技能訓練を行う養成訓練中心の機関から、在職者、中高年者を含む労働者の職業能力を継続的に開発する生涯訓練の機関へと大きく転換することを求められている。

具体的には、伝統的職種からメカトロニクス関連職種への重点の移行や品質管理、工程管理技術を含むテクニシャン訓練の展開、加齢に伴う学習能力の低下を補う中高年者の指導方法の確立、地域ニーズを重視した各種訓練の実施、さらには地域企業からの人材開発に関する諸問題について指導相談に応ずるカウンセリングの実施などが要請されている。

公共職業訓練施設がこのような諸要請に的確に対処していくためには、指導員および企画担当者が訓練ニーズの把握、コースやカリキュラムの開発、効果的指導方法の確立のため、職業能力開発に関する情報に積極的にアクセスしてこれを自在に駆使する意欲とノウハウを身につける必要がある。

指導員等の情報に対する感受性を高め、情報活用能力の向上を図るためには、指導員等にとって魅力のある情報を選択し、これを利用しやすい形にして提供していくことが当面有効な方策であると考えられる。

昭和60年8月、以上のような課題に応じて職業訓練における情報の収集、活用のあり方について研究するため労働省職業能力開発局の参加を得て職業訓練研究センターに職業能力開発情報活用研究会が発足した。研究会では爾来、熱心な討議を

重ねてきたが、今回その第一次アウトプットとして「職業能力開発文献情報ダイジェスト第一輯メカトロニクス関連文献」をとりまとめた次第である。

公共職業訓練施設が養成訓練や向上訓練としてメカトロニクス科の開発を行う場合にこの情報ダイジェストが良き道案内として活用されることを期待したい。

この第1輯の監修を担当した当研究会の篠崎襄委員、泉輝孝幹事の労を多とするとともに、執筆に参加して下さった職業訓練大学校教官各位に厚い謝意を表したい。

昭和61年3月

職業能力開発情報活用研究会

座長 天 谷 正

職業能力開発情報活用研究会委員名簿

座長	天谷 正	日本文理大学教授、沖電気工業株式会社理事
委員	井田 一郎	キャノン株式会社研修センター所長
	岩佐 直亮	株式会社岡村製作所教育センター部長
	小幡 孫三郎	東京都立亀戸高等職業訓練校長
	篠崎 襄	職業訓練大学校教授・訓練部長
	堀内 和明	株式会社荏原製作所藤沢工場庶務課長
	宗像 元介	職業訓練大学校名誉教授
	八原 忠彦	産業能率大学総合研究所主任研究員

オブザーバ

労働省職業能力開発局能力開発課

労働省職業能力開発局企画室

雇用促進事業団職業訓練部

小松 勝 産業能率大学総合研究所企画室
プロジェクトリーダー

上村 典子 産業能率大学総合研究所企画室

事務局

泉 輝孝 職業訓練研究センター基礎研究部長

小畑 宣子 職業訓練研究センター基礎研究部
訓練需要研究室長

監 修 者

篠 崎 襄 職業訓練大学校教授・訓練部長

泉 輝 孝 職業訓練研究センター基礎研究部長

執 筆 者

広 田 平 一 職業訓練大学校機械科助教授

海 野 邦 昭 職業訓練大学校機械科助教授

佐 藤 晃 平 職業訓練大学校機械科助教授

東 江 真 一 職業訓練大学校機械科講師

磯 野 宏 秋 職業訓練大学校機械科講師

和 田 正 毅 職業訓練大学校機械科助手

坂 井 儀 道 職業訓練大学校機械科助手

塩 田 泰 仁 職業訓練大学校福祉工学科助教授

鈴 木 重 信 職業訓練大学校福祉工学科講師

武 藤 一 夫 職業訓練大学校福祉工学科助手

訓研調査研究資料 第66号

職業能力開発文献情報ダイジェスト
第一輯メカトロニクス関連文献

発行 1986年3月
発行者 職業訓練研究センター
所長 多賀谷 敏夫
〒229 神奈川県相模原市相原1960
電話 0427-61-9911(代)

印刷 旭印刷
神奈川県相模原市上溝4-16-23
電話 0427-61-3488